

# 石の夢と

# 小川国夫

# 石彫家・杉村孝の世界

わが友杉村孝に  
小川国夫

すばらしいドラマを  
たから、今迄  
あなたに石の仕事  
文字の記念を見せてくれた機会に  
感謝をさせていただきます



男の首  
小川国夫が初めて杉村孝を訪ねたとき、購入した作品。小川家の庭に置かれている。

2013年  
10月20日  
〜  
12月8日

## 藤枝市郷土博物館・文学館

〒426-0014 静岡県藤枝市若王子500番地(蓮華寺池公園内)  
TEL: 054-645-1100 FAX: 054-644-8514

藤枝市郷土博物館・文学館

検索

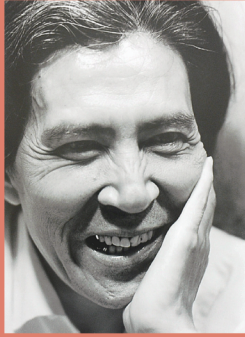


郷土博物館にて蓮華寺池普請400年記念展「駿州田中藩主本多家展」同時開催

- 開館時間: 午前9時〜午後5時
- 休館日: 月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日
- 入館料: 大人200円、中学生以下無料、障害者手帳等をお持ちの方および介助に必要な方は無料(博物館・文学館共通)
- 交通案内: JRの場合…JR藤枝駅から「新静岡行」バス10分、「蓮華寺池公園入口」下車、徒歩5分  
お車の場合…国道1号緑町交差点経由  
または藤枝バイパス(東から)数田東IC、(西から)谷稲葉IC経由  
または新東名藤枝・岡部ICから10分

# 小川国夫「石の夢」と石彫家・杉村孝の世界

2013年  
10月20日(日)～12月8日(日)

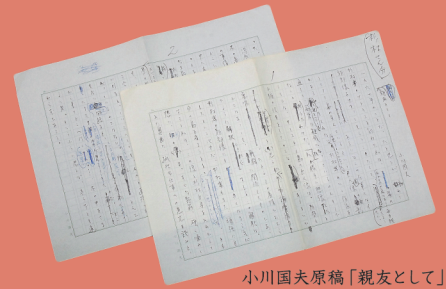


小川国夫  
(写真：相田昭 撮影)

小川国夫 (1927～2008)

静岡県藤枝市生まれ。1950年東京大学文学部入学。大学在学中にフランスへ私費留学。パリ大学などに籍を置き、この間、スクーターで地中海沿岸諸国を旅した。この体験がその後の小川作品の素地となった。簡潔な文体で光と影の原初的風景の中に人間の行為を映し出した作品を発表、内向の世代を代表する作家とみなされている。郷里・藤枝で執筆活動を続け、ふるさとを舞台にした作品も多い。著書に『アポロンの島』、『或る聖書』、『試みの岸』、『悲しみの港』、『逸民』などがある。

昭和51年《群像》3月号に発表された小川国夫作品「石の夢」。同郷の石彫家・杉村孝をモデルとした作品で、多彩な石の世界をさまよいながら生の証を模索する青年が描かれています。小川や杉村の文学・芸術の修練時代に焦点を当てた、生きるすべを探す苦しみを彷彿とさせる作品です。今回の展示では、「石の夢」を入口として、杉村孝の世界を紹介します。小川国夫との交流がみえる書画や杉村が自ら選んだ初期作品から現在までの作品を展示します。



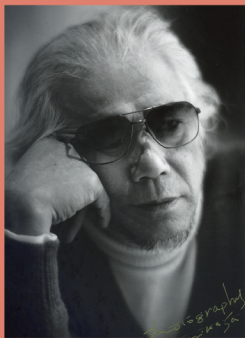
小川国夫原稿「親友として」



小川国夫(右)と杉村孝。  
平成元年(1989年)8月26日不動峡磨崖仏開眼供養の日に。

——僕は石の夢を見る、夢の中で重い重いと叫んでいる。これもまた杉村孝の言葉だ。常日ごろ石を扱っている君が、こんな夢を見るのは、むしろ当たり前かもしれない。しかし君を知る私にとってこの言葉の意味は、単に石工の肉体の中に石の実感があるということだけでなく、君のかけがえのない素質が石と抱き合っていると思わざるを得ない。私は、そうか、石の夢か、とつぶやき、このつぶやきが一人歩きするのを感じた。というのは、夢みているのは君だけではなく、石もまた夢みているのではないかとフツと思った。そして、杉村の作品の暗く滑らかな割れ目に見えるのは、その石が見ている夢の内容ではないだろうか。君の作品のよじれば、その石が夢にうなされているからではないだろうか、と私の想像はつのであった——

「石と抱きあう素質」小川国夫  
(『杉村孝作品集』より)



杉村 孝  
(写真：松野崇 撮影)

杉村 孝 (1937～)

静岡県藤枝市生まれ。石彫家・北川薫に師事。太平洋美術学校に学ぶ。中日展、富嶽文化賞展、現代美術展記念展など数々の美術展で受賞経験をもつ。また、1989年には藤枝市瀬戸谷の不動峡に磨崖仏「不動明王座像」を制作。さらに、郷土ゆかりの文学者・小川国夫、藤枝静男の文学碑、村越化石の句碑を制作したほか、数々のわらべ地藏の制作でも知られている。著作に『石屋の小僧が彫刻家になった途々の話』『わらべ地藏』『杉村孝作品集』などがある。日本美術家連盟会員。



石を縫う



再生



自刻像

## 関連イベント

### ◆杉村孝ギャラリートーク

とき / 10月27日(日) ①午前11時から ②午後1時30分から ところ / 文学館展示室  
作品への熱い思いや小川国夫との思い出を語ります。申込不要、直接会場お越しください。

### ◆バス&ウォーク 杉村孝作品めぐりツアー

藤枝・焼津の杉村孝作品をめぐりながら、制作秘話を本人が解説します。瀬戸谷不動峡の工房へもご案内! 杉村作品をたっぷり堪能してみませんか。

とき / 11月17日(日) 午前9時～午後4時30分(予定) 参加料 / 800円 持ち物 / 昼食・飲み物・レジャーシートなど  
定員 / 30人 申込 / 10月20日(日)開始。電話で郷土博物館・文学館へ

行程 / 郷土博物館・文学館→長楽寺(石庭)→鮎波神社(湧玉の庭)→柳屋本店(蘇生の庭)→巨石の森公園(瞑想の巨石)→玉露の里(村越化石句碑)→東国寺(牧球の庭)→途中徒歩ありー 不動峡(磨崖仏)→工房 ー途中徒歩ありー →帰館  
※行程は予告なく変更する場合があります



おかげ巨石の森公園内  
「和」(部分)